

水虫(白癬)について

今回は皮膚科 日本皮膚科学会専門医 銚石真理子医師に
「水虫(白癬)」について伺いました。

水虫(白癬)の 予防方法



・しっかり洗う!
・バスマットは
洗濯・乾燥!
・靴の中を清潔に!

水虫は皮膚糸状菌というカビ(真菌)の一種によって起こる皮膚の表面の感染症です。水虫は、直接病変部に触らなくても、足ふきマットやスリッパなどを介して発症することがあります。菌(白癬菌)は皮膚の表面の角質や、毛や爪の主要成分であるケラチンを栄養として育ちます。角質に菌が寄生し、増殖するとその過程でいろんな代謝産物を作ります。こ

れらが皮膚に炎症を起こし、丸いカサカサした赤い斑点、小さな水ぶくれをつくったり、足の裏全体が硬くなったります。全身どここの場所にでも

できますが、俗に、足に発生すると水虫(足白癬)、股にできればインキンタムシ(股部白癬)、髪の毛にできればシラクモ(頭部白癬)、股以外の体はゼニタムシ(体部白癬)と呼ばれます。

また、爪に感染する爪白癬もあります。自覚症状は、痒みが有名ですが、ない人もいます。足は治療せずに放置していると菌が爪に入った爪の水虫

(爪白癬)になることがあります。

治療は、病気の場所や症状、基礎疾患や合併症で塗り薬か飲み薬を選びます。足白癬や体部白癬は塗り薬をきちんとつければ治ります。足白癬は、両足の足の間から踵までの足の裏全体に、最低4週間毎日治療を続けないと治りません。2週間程度で治ったように感じますが、角質の中では菌がいるため、治療を中断するとまたです。白癬菌が髪の毛や爪にいる場合は、塗り薬は効きにくく、飲み薬による治療の方が効果がありますが、肝臓

に負担をかけやすく、血液検査を行いながら治療します。他の薬との飲み合わせ、合併症などで飲み薬による治療ができない場合、爪専用の塗り薬があります。

白癬菌が足に付着しても24時間以内にきれいに洗えば、感染を防ぐことができます。ごしごし洗って皮膚に傷がつくと、逆に足白癬になりやすいので石けんを泡立てて優しく洗ってください。

社会福祉法人



済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1番6号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp>

0898-47-2500

